



さわやか No.48 ニュース

公明党鶴見支部

発行責任者
鈴木 ひでし

いい街づくりに全力

19日に県議会で代表質問

鈴木ひでし県議



まさしま秀昭市議

がん治療の最先端 重粒子線によるがん治療現場視察

まさしま秀昭市議は、八月三十日に千葉市にある「がん治療の最終兵器」といわれている独立行政法人 放射線医学総合研究所「重粒子線によるがんの治療施設」を訪れました。

炭素イオンを光の速さ近くまで加速・照射し、がん細胞を打ち砕くものです。この治療による生還率は、八割とも九割ともいわれています。まさしま市議は「ぜひ、横浜にもこの施設を」と熱く語っています。

鈴木ひでし県議は九月度県議会定例会で党を代表して、九月十九日(水)に代表質問に立つことになりました。

この代表質問において鈴木県議は、先の統一地方選で区民、市民そして県民の皆様にお約束をした、安全安心の街づくり、特に震災・災害対策、福祉に関する諸問題を中心に、県の施策について県知事に質(ただ)すべく現場の視察、資料の収集、原稿の作成に東奔西走しています。

鈴木ひでし県議の代表質問の傍聴をご希望の方は9月19日午後4時30分までに県新庁舎にお越しください。また、今回の質問の内容および状況はtvkテレビで9月29日(土)午後7時から8時30分の間に放映される予定です。

県会



鶴見から始めるいい街づくり
鈴木 ひでし

市会



安心して子育ての出来る街・つるみ
まさしま秀昭